

ぴあ・いろは通信

4月



○放課後等デイサービス 放課後クラブぴあ ○児童発達支援 療育ルームいろは

《お問合せ》TEL 33-4860 fax 33-4861 (ぴあ内)

新年度が始まりました。ご入学・ご進学おめでとうございます。今年度もよろしくお願いたします。
職員一同ご利用をお待ちしています。

職員紹介 Part 1

(①ストレス解消法、②好きな言葉)

K・A (所長)

- ①人と会うこと・いろいろな人と話をすること
- ②謙虚にしておごらず、さらに努力を

T・I (児童発達支援管理責任者)

- ①晩酌
- ②人間万事塞翁が馬

K・Y (保育士)

- ①ライブ、映画を見に行く・歌う
- ②evrything's gonna be alright

K・Y (児童指導員)

- ①ライブに行く・体を動かす
- ②頑張れば、なんとかなる！

K・T (児童指導員)

- ①散歩・昼寝
- ②人間だもの

☆本紹介

『自閉症の療育者』

著/E ショプラー・佐々木正美 監修
療育を行うにあたっての基本になる TEACH
プログラムの方法や考え方について書かれて
いる本です。

支援の方法を写真や図を使って分かりやすく
紹介していたのでお勧めの一冊です。



TEACHトピックセミナー

3月25日26日、岡山県の川崎医療福祉大学で連携
センター主催の「平成29年度 TEACHト
ピックセミナー」に参加しました。

1日目は『あらゆる支援の基礎となるコミュニケー
ション支援 合理的配慮としての補助・代替コミュニ
ケーション』という題目で門真一郎先生の講演があり
ました。コミュニケーションには、理解(受容)コミ
ュニケーションと表出コミュニケーションがあり、両
方を支援することが大切であり、表出コミュニケーシ
ョンを補助・代替するための絵カード交換式コミュニ
ケーションシステムPECS(ペクス)の紹介があり
ました。

午後からの実践報告では、早期療育や強度行動障害地
域支援、成人期の暮らしを支える支援について発表が
ありました。

2日目は分科会があり、強度行動障害の方のグルー
プホームでの施設支援、通所事業所での就労支援、教
育現場での実践報告など、どれも興味深い発表でした。

自閉スペクトラム症の支援では、科学的根拠に基づ
いた、本人中心の支援アプローチ支援が重要であり、
今回のセミナーでは、特に表出コミュニケーション支
援の見直しと強度行動障害の方への丁寧な支援の在
り方を考えることができた貴重な時間を過ごすこと
ができました。

今回の研修を受け、研修でも紹介された書籍や手法
を学び直し、支援に生かしていきたいと思ひます。

5月の行事予定

【ぴあ】

○チョコレートパフェ作り 5月15日(月)~20日(土)

【いろは】

○ボーリング大会



★ゆいねっと新居浜 HP内「ゆいねっと BLOG」にて、ぴあでの活動の様子を更新中です

<http://yuinet-niihama.com/>